報道各位

2020 年 4 月 27 日
株式会社インプレスR&D
https://nextpublishing.jp/

OGP 活用の Web アプリをサクッと作る！

『Laravel と Nuxt ではじめる SNS シェアアプリ開発』発行

技術の泉シリーズ、5 月の新刊

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『Laravel と Nuxt ではじめる SNS シェアアプリ開発』(著者:寺田 晃大、峯岸 海)を発行いたします。

最新の知見を発信する『技術の泉シリーズ』は、「技術書典」や「技術書同人誌博覧会」をはじめとした各種即売会や、勉強会・LT 会などで頒布された技術同人誌を底本とした商業書籍を刊行し、技術同人誌の普及と発展に貢献することを目指します。

『LaravelとNuxtではじめるSNSシェアアプリ開発』
https://nextpublishing.jp/isbn/9784844378662

著者:寺田 晃大、峯岸 海
小売希望価格:電子書籍版 1600 円(税別)／印刷書籍版 2000 円(税別)
電子書籍版フォーマット:EPUB3／Kindle Format8
印刷書籍版仕様:B5 判／カラー／本文 78 ページ
ISBN:978-4-8443-7866-2
発行:インプレス R&D

＜＜発行主旨・内容紹介＞＞

本書は Laravel と Nuxt を使って、OGP(Open Graph protocol)を活用したアプリ開発をテーマにした解説書です。Twitter の画像付きリンクツイート生成 Web アプリ開発を通じて、フロントエンド・バックエンド双方の開発を学ぶことができます。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

まずフレームワークなど環境について概説

図2: 動作イメージ

使用するフレームワーク

フロントエンドの開発には、Nuxt.js[2]を使用します。そして、バックエンドの開発にはLaravel[3]を使用します。

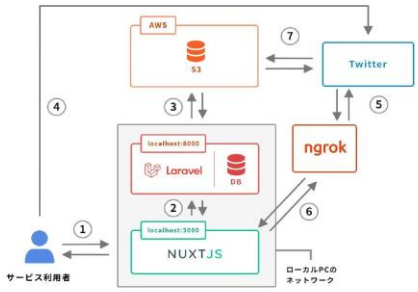
利用するサービス

アプリケーションでは、メッセージ画像の保存先に、AWSのS3を利用します。S3を利用する理由は、動作確認時にTwitterが提供しているCard Validator[4]を使用しますが、その際に画像がCard validatorからアクセスできるようにしておく必要があるためです。

アプリケーション構成図

アプリケーションの構成図を下記に示します。各サービスがどのように連携するかの参考にしてください。

図3: アプリケーション構成図



1．アプリケーションでメッセージを作成する
2．NuxtからLaravelのAPIを実行する
3．AWS S3にOGP画像を保存する
4．Twitterにアプリケーションで生成したURLをシェアする
5．ngrok経由でTwitterからNuxtにアクセスしてもらう
6．OGPの情報をTwitterに返却する
7．TwitterからS3に保存した画像にアクセス

2 https://ja.nuxtjs.org/
3 https://laravel.com/
4 https://cards-dev.twitter.com/validator

OGP 登録 API の実装を解説

```
use Str;

class MessageController extends Controller
{

+    public function show($id)
+    {
+        /** @var Message $message */
+        $message = Message::find($id); //  (1)
+
+        return response()->json([
+            'message' => $message->content,
+            'url' => config('app.image_url') . '/' . $message->file_path //  (2)
+        ]);
+    }


    public function store(Request $request)
    {
        // 省略
    }
}
```

showアクションについて説明します。まず最初にリクエスト中のUUIDを使用して、Message::find()でデータベースから対象のレコードを検索して取得します(1)。(2)ではJSONで返却するレスポンスを構築しています。messagesテーブルのfile_pathにはS3上の画像のパスが保存されていますが、S3の画像のURLを返却するためにはバケットのドメインが必要です。バケットのドメインはconfig()を使って取得します。

8.4 環境変数からS3バケットのURLを取得

本節では、前述のconfig()でバケットのURLを取得するための処理を追加します。

8.4.1 /config/app.phpを更新

config()を使用すると、設定ファイルに定義されているパラメータを取得できます[1]。config('app.image_url')は、/config/app.phpに定義されている、image_urlの値を取得します。image_urlはデフォルトでは定義されていませんので、app.phpに追加します。

1 https://laravel.com/docs/6.x/helpers#method-config

リスト8.3: /config/app.php

```
<?php

    return [

    // 省略

    'url' => env('APP_URL', 'http://localhost'),

+    'image_url' => env('APP_IMAGE_URL', 'http://localhost'), //  (1)

    // 省略
```

image_urlは、env()を使って環境変数からAPP_IMAGE_URLの値を取得します(1)。

8.4.2 .envにAPP_IMAGE_URLを追加

/config/app.phpで環境変数からAPP_IMAGE_URLの値を取得するように設定したので、.envに変数を追加します。

リスト8.4: .env

```
APP_IMAGE_URL=https://ogpbackend.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com
```

8.5 APIの動作検証

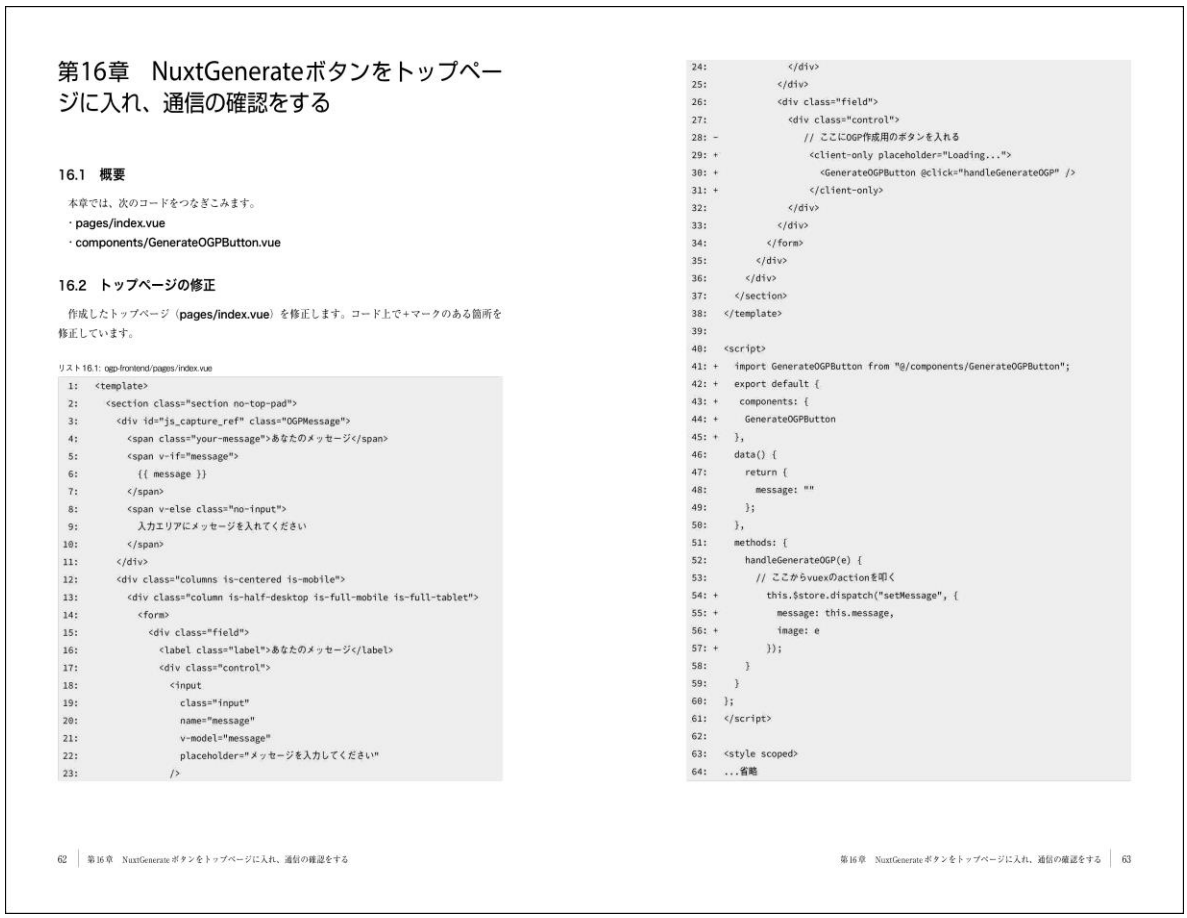
OGP情報取得APIの実装ができたので、期待通りに動作するか検証します。.envにパラメータを追加しているので、ローカルサーバーを再起動してからcurlコマンドでリクエストを送信します。リクエストのIDにはmessagesテーブルに登録済みのIDを指定します。成功すると次のようなJSONが返却されます。

```
$ curl --location --request GET 'http://localhost:8000/api/messages/d9d3cd3b-749f
-4bc9-bb93-508d9bdfd591'

{"message":"Hello World","url":"https:\/\/ogpbackend.s3-ap-northeast-1.amazonaws
.com\/d9d3cd3b-749f-4bc9-bb93-508d9bdfd591.jpg"}
```

APIの実装は以上です。

アプリ開発から動作確認まで一通りに紹介



第16章　NuxtGenerateボタンをトップページに入れ、通信の確認をする

16.1　概要

本章では、次のコードをつなぎこみます。

- pages/index.vue
- components/GenerateOGPButton.vue

16.2　トップページの修正

作成したトップページ（**pages/index.vue**）を修正します。コード上で+マークのある箇所を修正しています。

リスト16.1: ogp-frontend/pages/index.vue

```
 1:  <template>
 2:    <section class="section no-top-pad">
 3:      <div id="js_capture_ref" class="OGPMessage">
 4:        <span class="your-message">あなたのメッセージ</span>
 5:        <span v-if="message">
 6:          {{ message }}
 7:        </span>
 8:        <span v-else class="no-input">
 9:          入力エリアにメッセージを入れてください
10:        </span>
11:      </div>
12:      <div class="columns is-centered is-mobile">
13:        <div class="column is-half-desktop is-full-mobile is-full-tablet">
14:          <form>
15:            <div class="field">
16:              <label class="label">あなたのメッセージ</label>
17:              <div class="control">
18:                <input
19:                  class="input"
20:                  name="message"
21:                  v-model="message"
22:                  placeholder="メッセージを入力してください"
23:                />
24:              </div>
25:            </div>
26:            <div class="field">
27:              <div class="control">
28: -              // ここにOGP作成用のボタンを入れる
29: +              <client-only placeholder="Loading...">
30: +                <GenerateOGPButton @click="handleGenerateOGP" />
31: +              </client-only>
32:              </div>
33:            </div>
34:          </form>
35:        </div>
36:      </div>
37:    </section>
38:  </template>
39:
40:  <script>
41: +  import GenerateOGPButton from "@/components/GenerateOGPButton";
42: +  export default {
43: +    components: {
44: +      GenerateOGPButton
45: +    },
46:    data() {
47:      return {
48:        message: ""
49:      };
50:    },
51:    methods: {
52:      handleGenerateOGP(e) {
53:        // ここからvuexのactionを叩く
54: +        this.$store.dispatch("setMessage", {
55: +          message: this.message,
56: +          image: e
57: +        });
58:      }
59:    }
60:  };
61:  </script>
62:
63:  <style scoped>
64:  ...省略
```


＜＜目次＞＞

＜＜著者紹介＞＞

寺田 晃大(てらだ あきひろ)

本書のバックエンドの実装を担当。Web アプリケーション開発を中心に活動している、フリーランスのサーバーサイドエンジニア。SIer・受託開発企業を経験したのち、フリーランスに転向。

PHP、特に FW に Laravel を用いた開発が得意。

峯岸 海(みねぎし かい)

本書のフロントエンドの実装を担当。大学卒業後、サイバーエージェントに入社しフロントエンドエンジニアとしてソーシャルゲームの開発を担当。その後、マネーフォワードで BtoB のアプリケーションデザインを担当し、2020 年より FISM 株式会社で Web フロントエンド開発・UI/UX デザインなどの業務に携わる。

＜＜販売ストア＞＞

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

【インプレス R&D】 https://nextpublishing.jp/

株式会社インプレス R&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井芹昌信)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 https://www.impressholdings.com/

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメデイア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp